

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界へのプレゼントになろう  
Be a Gift to the World



「どう生きるか」諸事を見直して  
実践しよう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン 2015～2016 富津中央RC会長 千葉 一利  
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2432 第35回例会 2016. 3. 17 晴

点 鐘：千葉一利 会長  
進 行：小野恒靖 SAA  
ソング：手に手つないで

## 会長挨拶

千葉一利 会長



皆さん、こんにちは  
先週の雑学講座どうだったでしょうか。  
評判は気にせず、しつこく今週も作ってみました。  
この質問に全部答えられた方は賞品を差し上げます。自信のある方は挙手をお願いします。

- 1、なぜうれしい時胴上げするのか？
- 2、鎌倉の大仏が屋根のない場所に置かれているわけ。
- 3、日本の伝統礼法「左上」「右下」の考え方。
- 4、歌舞伎役者と屋号について。知っていること。
- 5、歌舞伎界の事を「梨園」という。とのわけは？
- 6、日本の玄関が外開きなのはどうしてか？

- 7、「駅から徒歩〇分」はどうやって測っているのか？
- 8、落としたコンタクトレンズを見つける裏ワザは？
- 9、海外での+-x÷の使用について
- 10、給油サインが出てから車はどのくらい走れるか。  
さて何割位解説ができたでしょうか？

## 解説

- 1、体が地上から離れる状態「非日常で神聖」手で支えられているのは「日常」この2つの世界を行き来する。これが胴上げ。江戸時代奉納相撲で当時の最高位大関を胴上げする習慣があった。そこから…
- 2、初代の鎌倉の大仏は木造で1243年に完成したが4年後に台風で崩壊し、1252年に青銅製の金剛大仏殿が建てられた。1498年室町時代の明応の大地震の津波で大仏殿は流された。その後大仏殿は建てられていない。
- 3、中国より飛鳥時代に入ってきた。北を背にして座ると左方が東で太陽が昇る方向。それで左の方が上位。西洋はライト、正しいの意。右の方が上位オリンピックの表彰台など日本は現在併用している。
- 4、役者は、身分の低い者扱いだったが、江戸の中頃、次第に認められ表通りに住めるようになった。ただし何か商売しなければならない。

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3  
いち川旅館 Ichikawa ryokan  
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken  
Tel.0439-65-0177 Fax.0439-65-0177  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>  
Mail [home@futtsuchuo-rotary.org](mailto:home@futtsuchuo-rotary.org)



化粧品店、小間物屋などその商店の名が役者の声掛けに使われた。

- 5、唐の玄宗皇帝が宮廷内の梨のある園で音楽や舞を練習させていたと言う事より。
- 6、玄関にはきものがあるので、地震国で家から出やすい
- 7、駅で一番近い出入口。
- 8、掃除機に女性の靴下のような薄い布を付けて。
- 9、÷はほとんどの外国は通用しない。
- 10、車種によるが10リッター前後で赤ランプがつく。  
1リッター20キロ走れば200キロは走れる。しかし早めに入れたほうがよい。

## 幹事報告

高橋裕之 幹事



1. ソウル国際大会投票代議委員委任状受領
2. 木更津 RC 例会変更案内受領  
4/13(水) 木更津東RCとの合同例会(4/14を振替)  
場所:ロイヤルヒルズ木更津ビューホテル  
点鐘:18:30  
4/28(木) 休会(定款第6条第1節c項)
3. 袖ヶ浦RC・富津RC・君津RCより会報受領(回覧)

## 感謝状贈呈



## 委員会報告

50周年記念事業 来賓へのお土産について

総務部会担当委員 平野 安照



お土産の候補を紹介させていただきます。28年1月に見波亭がニューリアルした際に登場した新作のバウムクーヘンで、名称はきりかぶクーヘンと言います。最新作ですので、見波亭の商品リーフレットにはまだ掲載されておりません。サクサクした気持ちのよい食感と黒糖をふんだんに使用し健康面にも配慮した一品です。単価は税込1,080円で、賞味期限はおよそ1ヶ月です。手作業で作られておりますので、事前予約をすれば大量注文にも対応可能との事でした。

## 卓話

「戦国はるかなれど」

山田昌雄 会員



私は歴史には詳しくないのですが、一昨年孫二人と出雲大社を訪れた際、松江城に立ち寄りました。

松江城と言えば、松平治郷の居城です。私が何故そんなところへ行ったかと言えば、大名(出雲国松江藩七代藩主)茶人としてあまりに有名だからです。江戸末期に日本の茶道具の名品を集大成した人で、「雲集蔵帳」という茶道具目録を著し、これは現代でも茶道具の格を位置付けています。特筆すべきは不昧公が好んで使った出雲紙の薬袋紙(箱の覆紙)です。

これさえあれば不昧名品として、庶民には手の届かない値段だそうです。



(写真は松江城ホームページよりコピー)

さて、ではこの松江城は誰が作ったのでしょうか。後世にあまり知られていない人です。堀尾吉晴という人です。信長、秀吉、家康、あまねく世に知られた戦国武将の中でもほとんど目立たない人です。幼名「仁王丸」長じて「小一郎」「茂助」そして「吉晴」。地方豪族のせがれに生まれて苦勞の末に大名にまでなっています。秀吉に拾われたのが運の始まりです。そして数々の武功を立てますが、決して自分からはその功を申し立てなかった人だったそうです。あの凛冽極まりない信長から「猿」「小一郎は我が者ぞ」と二度まで言わしめたそうで秀吉は生涯「吉晴」を手放せなかったとされています。

その吉晴の真骨頂は、足輕、小者に至るまで「命」「家族」を大事にしろと言い「仏の茂助」と呼ばれた生き方にあったようです。この人物像に光を当てたのが直木賞作家「中村彰彦」です。実に五年半の歳月を要したそうです。その史実資料の解析には頭が下がります。

※参考資料 堀尾吉晴(ほりお よしはる)

慶長5年(1600年)の関ヶ原合戦の後、出雲・隠岐両国を拝領した子の忠氏と共に、遠江国浜松



(静岡県)から月山富田城(広瀬)に入ったが、松江の将来性に着目して城地を移した。豊臣秀吉、徳川家康と二人の天下人に仕え、豊臣政権下では三中

老の一人として功績を残している。城普請の名人であり、孫の忠晴を助け松江城と城下町を建設し、現在の松江市の礎を築いた。



南櫓



(島根県名所案内写真)天守閣 附櫓

ニコニコ BOX

渡辺哲夫 親睦担当委員



白石幸久 確定申告が終了しました

\*栗原典子 13日に初孫が誕生しました。  
桜子ちゃんです!

\*山田昌雄 卓話をさせていただいて。

\* >1,000円 合計 5,000円

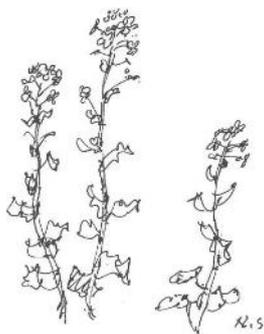
出席報告

志波 克 出席担当部長



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	26/24	17	7		70.83%
前回	26/24	22	2		91.67%
前々回	26/24	19	5		79.17%

総会員数：27名－休会1名＝26名



菜の花



例会食

巻き寿司、いなり寿司、粕汁、コーヒー



岩瀬橋から河口を写す



岩瀬橋より上流を写す



岩瀬橋より例会場を写す